

# 令和4年度 第3回山城地方 学力向上対策会議 を開催しました！



令和4年度第3回山城地方学力向上対策会議を開催し、「全国学力・学習状況調査」における山城教育局管内の小中学校の結果から見える成果と課題についての交流・協議を行いました。また、他にも「山城地方教育実践フォーラム」の具体的な運営方法や「山城地方学力向上を目指す教育実践交流会」の実施内容、「やましろ授業スタンダード」改訂案について協議を行いました。

- 1 日時 令和4年10月28日（金）午前10時から正午まで
- 2 場所 京都府田辺総合庁舎保健所棟 講堂
- 3 出席者 山城地方学力向上対策会議員 23名
- 4 概要

「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果について交流・協議しました。

○山城教育局管内の小中学校の結果について、京都府平均値や全国平均値との比較、過去6回（7年間）の推移、質問紙回答における回答状況等、成果と課題を交流・協議しました。

## 学力状況の結果より

- ◇京都府平均正答率との比較では、中学校3年生国語の平均正答率のみ上回る値であった。全国平均正答率との比較では、小学校6年生国語と算数、中学校3年生国語の平均正答率が上回る値だった。
- ◇小学校6年生調査結果からは理科が、中学校3年生調査結果からは、数学、理科の課題が大きいことがわかった。
- ◇過去6回（7年間）の全国比推移では、小・中学校の国語、小学校の算数は昨年度より上昇傾向がみられるものの、中学校の数学は平成30年度以降下降傾向にあり、更なる授業改善が求められる。

## 児童生徒質問紙調査結果より

### ◇学習の興味・関心に関する項目において

- ・国語や算数・数学の「勉強は好き」と肯定的な回答した児童生徒の割合は、6割に満たない。
- ・「勉強は大切」「社会に出た時に役に立つ」と感じている児童生徒の割合は、9割を超えている。
- ・「授業の内容はよくわかる」と感じている児童生徒の割合は、7割～8割。

さらに主体的に学びに向かう力を高めるには、児童生徒が「よくわかる授業」を経験し、自覚化させることが大切。そのためにも学習において「振り返り」を充実させることが重要となる。

**「山城地方教育実践フォーラム」(京田辺市立草内小学校・京田辺市立培良中学校  
<11月17日(木)>)の詳細について検討・確認しました。**

- 参加者による主体的な交流協議になるよう、その内容について検討・確認しました。
  - ・「やましろ授業スタンダードを活用した『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業づくりについて、自己の実践を振り返り、協働的な学びを通じて深める」というテーマを設定し、公開授業を参観し、ワークショップにて協議する。授業改善のポイントやイメージについて、参加者が協働的に学び合うようにする。
  - ・感染症対策として、①全体会は1か所に集合せず、オンライン形式で行う ②参加人数を各校1名と限定する ③参加する公開授業・ワークショップを指定する ④会場の感染症対策(換気・消毒等)を徹底する 等の対策を行い、開催する。

**「山城地方学力向上を目指す教育実践交流会」<2/10(金)>について検討・確認しました。**

- 実践交流会の内容について「分散会Ⅰで、実践事例集31集の掲載校11校より5つのグループに分かれて発表してもらうこと」「分散会Ⅱで、『やましろ授業スタンダード等』に沿った授業実践のVTRをもとにした交流・協議を行うこと」を確認しました。

**「やましろ授業スタンダード」改訂版の発刊に向けて、案について検討しました。**

- 「やましろ授業スタンダード」改訂版の案について、小グループに分かれて検討しました。検討後、各グループから検討内容について報告され、「掲載内容」「掲載情報の精選」「レイアウト」「配色」等について、気づいた点や改善案が出されました。
- 今後、検討されたことをもとに修正案を作成し、よりよい「やましろ授業スタンダード」改訂版の作成を目指すことを確認しました。

